

看護部トピックス

看護部長&院長の講和会が開催されました



今年も年度初めの5月と6月に院長&看護部長の講話がありました。講話は5月7日と6月14日の2回に分けて開催され、看護師をはじめ多くの病院スタッフが参加しました。

宮岡院長は、2020年度の振り返りと今後の方向性についてのテーマで、コロナによる病院経営・収支の現状報告などのお話をされました。スタッフのキャリアアップのための資格取得支援のお話やパワーハラスメントとは？、当院の地域での役割など様々な範囲に渡ってのお話を絡めながら、日々感染対策に努めながら業務にあたる病院スタッフへの温かい労いの言葉がありました。

東看護部長からは、働きやすい職場づくりのためのワークライフバランスの推進、業務改善の一環としてのPNSの見直しや病棟編成・薬剤師連携などの現在行っている具体的な改善策についてお話がありました。他にも看護の質を向上するための人材育成に、より一層力を入れ地域に貢献する病院を作っていくこと、診療報酬改定により認知症ケア加算、せん妄ケア加算が加わり、私たちのケアが診療報酬として評価されるようになったことのお話を、データを示しながらわかりやすく説明されていました。院長同様にこのコロナ禍で働くスタッフへの感謝と労いの言葉があり、終始穏やかな雰囲気でした。最後に、「2021年はchallengeの年に」を掲げて、コロナにめげず、何事にも挑戦していきましょう！！と、講話は締めくくられました。